

事業所名

放課後等デイサービスかみふうせん

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

18日

法人（事業所）理念		すべての子どもたちが、共に学び共に育つ社会の実現（インクルーシブ社会の創造） 学校や病院、児童相談所等の諸機関と連携 障がい児に良質な療育や支援を継続的に行う 障がい児が自立した生活をおくる事が出来る資質を育てるとともに、地域や仲間と共に生きていく社会性を育てていく。						
支援方針		「人の中で生きる」を目指し、子どもたちの持っている力を伸ばし、社会のルールや人との関わり方を学んだり練習することを重視した療育を行っています。						
営業時間		13時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康な生活を送るために必要なスキルを学んだり練習したりします。 【具体例】 ・スケジュールを掲示し、1日の活動の流れを見通せるようにしています。時間になったら活動が切り替わることを体感してもらい、切り替えができるようにしています。 ・掃除や調理の大切さを学んだりスキルを身に付けることを目的に、「せいかつ」の時間を設けています。 ・「バルーンポイント」というポイントを導入しています。ポイントを自分で管理したり景色とポイントを交換するという疑似買い物体験を行っています。						
	運動・感覚	視覚・聴覚・触覚といった感覚をつかい、協調運動がスムーズに行えるように支援します。 【具体例】 ・感覚を使う遊びや身体を使う遊びを通し、自身の身体を上手に扱えるように「からだ」の時間に練習しています。 ・種々の工作等を通し、手先の使い方、目との協応、道具の使い方などがスムーズになるように「せいさく」の時間を設けています。						
	認知・行動	見る・聞く・推論するなどの認知能力をうまく使い、適切な行動ができるように支援します。 【具体例】 ・「がくしゅう」の時間にコグトレ等を用い、見る・聞く・推論するといった認知面のトレーニングを行い、個人の苦手にアプローチしています。 ・「SST」や「じぶんタイム」の時間に、自身の認知（ものごとの捉え方）に気づき、適切な行動をとることができるように主に対話を用いたアプローチしています。 ・トークンエコノミー法として「バルーンポイント」を導入しています。課題や目標を達成することでポイントがもらえることを通し、適切な行動が増えることを目的としています。						
	言語コミュニケーション	言葉をつかったコミュニケーションが円滑に行えるように支援します。 【具体例】 ・言葉を用いたゲームやクイズ、話し合いや発表などを通し、語彙を増やしたり言葉でのやり取りができるように「ことば」の時間を設けています。 ・「SST」の時間に、コミュニケーションスキルやソーシャルスキルを身に付けるための学習や、小集団での会話やロールプレイなどを行っています。						
	人間関係 社会性	集団活動への参加を促し、社会で必要なスキルを身に付けられるように支援します。 【具体例】 ・「からだ」や「ことば」といった集団活動への参加を促し、他児との関係を築き、集団への帰属意識・仲間意識を持てるようにしています。またその際、適切な行動を「活動の目標」として提示し、振り返りの時間をもうけることで意識付けられるようにしています。 ・仲間と共に楽しんだり、自分の役割を果たせるようになるように、年に何度かイベント等を開催しています。						
家族支援		・特性理解や学校や家庭での困りごとなどについてのご家族からの相談を受けています。			移行支援		・学校を交えた担当者会議を開き、学校での子ども様子や対応の仕方などを共有しています。また、適宜学校とは情報交換しています。	
地域支援・地域連携		・担当者を開き、他の事業所との情報を交流しています。			職員の質の向上		・月に1回程度、内部研修を行っています。	
主な行事等		【イベント】母の日感謝デー、七夕イベント、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、発表会、避難訓練 【バルーンポイントのボーナスキャンペーン】ふわふわ言葉キャンペーン、夏祭り準備、日本クイズ、ありがとうキャンペーン ※行事は例です。						